

船舶事故調査報告書

平成25年7月11日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成24年4月26日 06時00分ごろ以降の岡山県備前市頭島東岸の入り江から出航した時刻～09時10分ごろの間）
発生場所	不明（頭島東岸の係留場所～係留場所から北方400m付近の間）
事故調査の経過	<p>平成24年4月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。</p> <p>原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。</p>
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 鯛丸、1.1トン OY3-22895（漁船登録番号）、個人所有 6.71m(Lr)×2.09m×0.74m、FRP ディーゼル機関、33kW（動力漁船登録票による）、平成11年3月16日
乗組員等に関する情報	船長 男性 69歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年5月23日 免許証交付日 平成21年4月13日 （平成26年11月19日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	オーニングスタンションが切断して消失 主機の接続棒が曲損
事故の経過	<p>本船は、頭島東岸の入り江に係留されていたが、平成24年4月26日未明から強風が吹き始めたので、06時00分ごろ、船長が、頭島北岸にある頭島大橋の避難場所に本船を移動するために自宅を出た。</p> <p>船長の家族は、06時20分ごろ、船長から指示されていたので、船長を迎えるために避難場所に赴いたが、本船も船長も見当たらなかった。</p> <p>船長の家族は、07時25分ごろ日生町漁業協同組合に船長の行方が分からないとの連絡を行い、同漁協所属の漁船、海上保安庁の巡視艇及びヘリコプターが搜索したところ、本船が、09時10分ごろ備前市所在の頭島港東防波堤灯台から真方位066°1,000m付近</p>

	<p>の水深約5mの海底で発見され、27日12時55分ごろ、頭島北東端から約50m付近海域において、船長が発見されて収容された。</p> <p>船長の死因は、溺死と検案された。</p>
気象・海象	<p>備前市には、4月25日16時06分～翌26日10時35分まで強風波浪注意報が発表されていた。</p> <p>本船及び船長の捜索が始まった4月26日07時00分ごろの気象及び海象は、次のとおりであった。</p> <p>気象：天気 曇り、風向 南西、風力 5、視界 良好</p> <p>海象：波高 約1.0m</p>
その他の事項	<p>船長は、発見されたとき、救命胴衣を着用していなかった。</p> <p>本船は、発見されたとき、主機の操縦位置は前進であり、船体に衝突痕はなかった。</p> <p>本船は、全長にわたってオーニングが展張されていた。</p> <p>本船は、主機の接続棒が曲損した。</p> <p>船長は、強風時、いつも頭島大橋の避難場所に移動していた。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、船長が26日06時00分ごろ自宅を出て本船を頭島北岸の避難場所へ移動するため、頭島東岸の入り江の係留場所から出航したのち、09時10分ごろ、係留場所から北方400m付近において、沈没している本船が発見され、その後、船長が別の場所で発見されたことから、06時00分ごろ以降の頭島東岸の入り江から出航した時刻～09時10分ごろの間において、係留場所から本船発見場所の間を頭島北岸の避難場所に向けて航行中、船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>主機の接続棒は、主機が高速回転中に主機に海水が入り、ウォーターハンマー現象を起こし、曲損したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が頭島北岸の避難場所に向けて航行中、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命胴衣を着用すること。 ・荒天時には出航しないこと。 ・強風時には、甲板に展張されたオーニングを閉じること。